



## R コマンド

この章では、コマンド名が R で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンドについて説明します。

### rollback running-config checkpoint

設定済みチェックポイント ファイルのロールバックを実装するには、**rollback running-config checkpoint** コマンドを使用します。

**rollback running-config checkpoint name [atomic | best-effort | stop-at-first-failure]**

シンタックスの説明	<b>best-effort</b>	(任意) ロールバックを実装し、エラーが発生した場合はスキップします。
	<b>atomic</b>	(任意) エラーが発生しない場合のみロールバックを実装します。
	<b>stop-at-first-failure</b>	(任意) エラーが発生したら中止するロールバックを実装します。

デフォルト なし

コマンド モード コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、設定済みチェックポイント ファイルのロールバックを実装する例を示します。

```
switch# rollback running-config checkpoint stable
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show diff rollback-patch</b>	ロールバックする側とされる側のファイルの違いを表示します。

## rmon alarm

32 ビット Remote Monitoring (RMON; リモート モニタリング) アラームを設定するには、**rmon alarm** コマンドを使用します。RMON アラームを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
rmon alarm alarm number mib-object sample-interval {absolute | delta} rising-threshold value
[rising-event] falling-threshold value [falling-event] [owner alarm-owner]
```

```
no rmon alarm alarm-number
```

### シンタックスの説明

<i>alarm number</i>	RMON アラーム番号。範囲は 1 ～ 65535 です。
<i>mib-object</i>	監視対象の MIB オブジェクト。最大長は 80 文字です。
<i>sample-interval</i>	秒単位のサンプリング間隔。範囲は 1 ～ 2147483647 秒です。
<b>absolute</b>	各サンプルを直接テストします。
<b>delta</b>	現在のサンプルと前回のサンプルの差分 (デルタ) をテストします。
<b>rising-threshold value</b>	上昇しきい値を指定します。範囲は -2147483648 ～ 2147483647 です。
<i>rising-event</i>	(任意) 上昇しきい値を超えたときにトリガーするイベントを指定します。範囲は 1 ～ 65535 です。イベントを省略すると、イベント 0 が使用されます。
<b>falling-threshold value</b>	下限しきい値を指定します。範囲は -2147483648 ～ 2147483647 です。
<i>falling-event</i>	(任意) 下限しきい値を下回ったときにトリガーするイベントを指定します。範囲は 1 ～ 65535 です。イベントを省略すると、イベント 0 が使用されます。
<b>owner alarm owner</b>	(任意) アラームのオーナーを指定します。最大長は 80 文字です。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

### コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは不要です。

### 例

次に、OID 1.3.6.1.2.1.2.2.1.14 に 32 ビットのアラーム番号 20 を設定する例を示します。サンプリング間隔は 30 秒で、差分テストを実行します。上昇しきい値はサンプリング間隔あたり 15 エラーです。このしきい値に達すると event1 がトリガーされます。下限しきい値はサンプリング間隔あたり 0 エラーです。このしきい値に達すると event0 (アクションなし) がトリガーされます。

```
switch# config terminal
switch(config)# rmon alarm 20 1.3.6.1.2.1.2.2.1.14.16777216 30 delta rising-threshold
15 1 falling-threshold 0 owner cisco
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>rmon event</b>	RMON イベントを設定します。
<b>rmon hcalarm</b>	64 ビット RMON アラームを設定します。
<b>show rmon</b>	RMON 設定およびログ記録情報を表示します。

## rmon event

Remote Monitoring (RMON; リモート モニタリング) イベントを設定するには、**rmon event** コマンドを使用します。RMON イベントを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**rmon event** *event-number* [**description** *text*] [**log**] [**trap** *community-string*] [**owner** *owner-name*]

**no rmon event** *event-number*

## シンタックスの説明

<i>event-number</i>	RMON イベント番号。範囲は 1 ～ 65535 です。
<b>description</b> <i>text</i>	(任意) イベントの記述を指定します。最大長は 80 文字です。
<b>log</b>	(任意) イベントがアラームによってトリガーされた場合、オンボード RMON ログに RMON ログ エントリを生成します。
<b>trap</b> <i>community-string</i>	(任意) イベントがアラームによってトリガーされた場合、指定のコミュニティ名で Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) トラップを生成します。コミュニティ名の最大長は 32 文字です。
<b>owner</b> <i>owner-name</i>	(任意) アラームのオーナーを指定します。オーナー名の最大長は 80 文字です。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドで作成したイベントは、**rmon alarm** または **rmon hcalarm** コマンドを使用して設定したアラームによってトリガーできます。

このコマンドにライセンスは不要です。



(注)

イベントは **rmon alarm** (32 ビット) および **hcalarm** (64 ビット) コマンドの両方で使用できます。

**例** 次に、オンボード RMON ログに記録して、パブリック コミュニティ トラップ宛てに SNMP トラップを送信するように、RMON イベント 2 を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# rmon event 2 log trap public description CriticalErrors owner cisco
switch#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>rmon alarm</b>	32 ビット RMON アラームを設定します。
<b>rmon hcalarm</b>	64 ビット RMON アラームを設定します。
<b>show rmon</b>	RMON 設定およびロギング情報を表示します。

# rmon hcalarm

64 ビット Remote Monitoring (RMON; リモート モニタリング) 高容量アラーム (hcalarm) を設定するには、**rmon hcalarm** コマンドを使用します。rmon hcalarm を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
rmon hcalarm alarm-number mib-object sample-interval {absolute | delta} {rising-threshold- high
value rising-threshold-low value [rising-event] [falling-threshold-high value
falling-threshold-low value [falling-event]]} [owner alarm-owner]

no rmon hcalarm alarm-number
```

## シンタックスの説明

<i>alarm-number</i>	RMON hcalarm 番号。範囲は 1 ～ 65535 です。
<i>mib-object</i>	監視対象の MIB オブジェクト。最大長は 80 文字です。
<i>sample-interval</i>	秒単位のサンプリング間隔。範囲は 1 ～ 700000 秒です。
<b>absolute</b>	各サンプルを直接テストします。
<b>delta</b>	現在のサンプルと前回のサンプルの差分(デルタ)をテストします。
<b>rising-threshold-high value</b>	64 ビット上昇しきい値の上位 32 ビットを設定します。範囲は 0 ～ 4294967295 です。
<b>rising-threshold- low value</b>	64 ビット上昇しきい値の下位 32 ビットを設定します。範囲は 0 ～ 4294967295 です。
<i>rising-event</i>	(任意) 上昇しきい値を超えたときにトリガーするイベント。範囲は 0 ～ 65535 です。
<b>falling-threshold- high value</b>	64 ビット下限しきい値の上位 32 ビットを設定します。範囲は 0 ～ 4294967295 です。
<b>falling-threshold- low value</b>	64 ビット下限しきい値の下位 32 ビットを設定します。範囲は 0 ～ 4294967295 です。
<i>falling-event</i>	(任意) 下限しきい値を下回ったときにトリガーするイベント。範囲は 0 ～ 65535 です。
<b>owner alarm-owner</b>	(任意) アラームのオーナーを指定します。最大長は 80 文字です。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

コンフィギュレーションモード

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

イベント番号 0 は、定義済みのヌル (または操作なし) イベントです。ユーザがアラーム内でイベントを指定しないと、このイベントが自動的にシステムによって使用されます。このイベントはトリガーされても何もアクションを実行しませんが、アラームはリセットされます。ユーザはこのイベントを再定義できません。これは事前定義のイベントです。

このコマンドにライセンスは不要です。

---

**例**

次に、RMON 高容量アラームを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config) rmon hcalarm 2 1.3.6.1.2.1.31.1.1.1.6.22544384 30 delta
switch(config) rising-threshold-high 55 rising-threshold-low 3776798720 4 falling-threshold-high 41
switch(config) falling-threshold-low 3906340864 owner cisco
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>rmon alarm</b>	32 ビット RMON アラームを設定します。
<b>rmon hcalarm</b>	64 ビット RMON アラームを設定します。
<b>show rmon</b>	RMON 設定およびロギング情報を表示します。